

ものがたりを 読む 1つ

なまえ

がくせいのな

ポイント

○しゅじんこうの 気もちの へんかを 読みとりましょう。

ドリル

◆ つぎの 文しょうを 読んで、あとの もんだいに 答えなさい。

りえちゃんは、元気で 明るくて、たんぽぽが 大すきな女の子です。弟の ともくんは、まだ よちよち歩きですが、りえちゃんは ともくんを 連れだして、毎日のように 外で 遊んで いました。

りえちゃんは、たんぽぽなどの お花を つんで 集めるのが すきでした。けれども、ともくんは、つんで しまうのは お花が かわいそうだよと 言って、りえちゃんが つんで いる 間は、となりで①それを ずっと ながめて いました。

冬が すぎて、風が 少しずつ あたたかく なり、りえちゃんの 大すきな たんぽぽの さく きせつに なりました。

りえちゃんは 二年生に なって、クラスも かわり、新しい おともだちが たくさん できました。その 新しい おともだちと、りえちゃんは 毎日 ぐらく なるまで 遊びました。弟の ともくんを 連れて 遊びに 行く ことは、だんだん 少なくなつて いきました。

ある日、りえちゃんは、同じ クラスの おともだちと、みんなで かくれんぼを して 遊んで いました。公園の すべり台の かげに かくれて、一人で ※と すわって いる とき、足もとに 一りんの たんぽぽが さいいて いました。りえちゃんは、かくれて いる 間、ずっと それを 見つめて いました。そして、ふと 思いました。このごろ、ともくと 外へ 遊びに 行って いないな。

ともくんは 何も 言わなけれど、さびしい 思いを  
して いるかも しれないな。

そこで りえちゃんは、かくれんぼの あと、すべり台の  
下の たんぽぽを つんで 帰りました。②ともくんに「ご  
めんね」と いう 気もちを こめて、あげようと 思った  
のです。

でも、帰り道で りえちゃんは 思いました。そう いえ  
ば、ともくんは お花を つむと かわいそうだと、いつも  
言っ て いたわ。これを ともくんに 見せると、ともくん  
は かなしい 気もちに なるかも しれない。

りえちゃんは、家に 帰る とちゅう、たんぽぽの 花に  
「ごめんね」と 言う と、それを そっと 川へ 流しました。  
そして、何も もたない かわりに、いつも いじょうに  
元気いっぱいの 声と 笑顔で、「ただいま！ ともくん、  
今日も いい子に して いた？」と、明るく お家へ 入  
って いきました。

(1) ——— せん①「それ」とは、だれの どう いう ようす  
ですか。書いて 答えなさい。

(2) ※に 入る ふさわしい ことばを つぎから  
一つ えらび、①から ④の 番ごうを 書きなさい。

- ① かつん
- ② こつん
- ③ ごつん
- ④ ぽつん

(3) ——— せん②「ともくんに『ごめんね』と いう 気もち  
を こめて」と ありますが、りえちゃんは、ともくんが  
どう いう 気もちで いると 考えて、「ごめんね」と  
思ったのですか。書いて 答えなさい。

ものがたりを 読む 1と

ドリル

かいたう

ヒント



(1) (れい) りえ  
ちゃんの、お  
花<sup>はな</sup>をつんでい  
るようす。

(2) ④  
(3) (れい) さみ  
しい気<sup>き</sup>もち。



(1) すぐ 前<sup>まえ</sup>の「りえちゃんが つんで  
いる 間<sup>あいだ</sup>」と いう ぶぶんから、何<sup>なに</sup>  
を つんで いるか (たんぽぽなどの  
お花<sup>はな</sup>) を おぎなって まとめます。

(2) 「ぽつんと」とは、ここでは 一人<sup>ひとり</sup>で  
じっと して いる ときの ようす  
を あらわして います。

(3) りえちゃんが「ともくんは 何も  
言<sup>い</sup>わないけれど、さびしい 思<sup>おも</sup>いを  
して いるかも しれないな」と考<sup>かん</sup>え  
て いる ところから まとめます。